

# かまがわ

第 32 号  
2021.1

## 診療科紹介

## 血液内科 心臓血管外科

酒井敏行京都府立医科大学名誉教授（左から 4 番目）より御寄贈いただいた  
全自動 PCR 検査機器「Cobas6800」の前で、院長はじめ当院職員との 1 枚



### もくじ

#### 1. 診療科・中央部門紹介

- ・血液内科
- ・心臓血管外科

#### 2. トピックス

- ・ふるさと納税による御寄附に係る寄附者銘板の設置について
- ・酒井敏行名誉教授から御寄贈いただいた「Cobas6800」について
- ・外来正面玄関サーモグラフィーの更新について

#### 3. 健康・予防の豆知識

- ・臨床検査 ・くすり ・栄養
- ・京都府における新型コロナ相談体制の変更について

#### 4. 病院からのお知らせ

### 基本方針

- 高度で安全な医療を提供します。
- 患者さんの権利を尊重し、患者さん本位の医療を提供します。
- すべての医療人は互いに連携し、チーム医療を推進します。
- 新しい医療を開発するとともに、未来を担う医療人を育成します。
- 京都府における基幹病院として、地域医療に貢献します。

### 患者さんの権利

- 個人として尊重され、平等に良質な医療を受けることができます。
- わかりやすい言葉や方法で、十分な説明を受けることができます。
- 十分な説明を受けた上で、自らの意思で治療方法等を決定することができます。
- 医療に関する個人情報やプライバシーは、保護されます。
- 診療録等に記録された自己の診療内容について、情報提供を受けることができます。
- セカンドオピニオン（他の医療機関等の意見）を希望される場合は、紹介を受けることができます。

血液内科では、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、急性白血病などの造血器悪性腫瘍（血液がん）をはじめとして、貧血、凝固異常症など、あらゆる血液の病気に対し幅広く診療を行っています。



## 診療を行っている主な疾患

- ① 悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、急性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性腫瘍（真性多血症や本態性血小板血症、骨髄線維症）などの造血器悪性腫瘍
- ② 再生不良性貧血、溶血性貧血など各種の貧血
- ③ 特発性血小板減少性紫斑病、血栓性血小板減少性紫斑病、血友病など、凝固異常症

## 診療内容

主な診療内容は、化学療法（抗がん剤治療）、放射線療法、分子標的治療（がんの増殖に必要な特定の分子を標的とした治療法）といった血液がんに対する治療であり、日本骨髄バンクの正式認定施設として骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植などあらゆるタイプの造血幹細胞移植も積極的に行っています。最新のエビデンスに基づいた標準的治療を基本としつつ、柔軟性をもって患者さんの病状にあわせた診療を幅広く行うことは勿論のこと、開発段階である治療として臨床試験や未承認薬の治験（随時 10 件以上、これまで 150 件以上）なども数多く実施しており、最先端医療の実績をもつ国内有数の血液診療施設です。

血液診療においては、専門的な管理の必要性から長期にご入院いただく場合もありますが、近年では外来に通院しながら実施できる治療も増えてきており、できるだけ患者さんの日常生活を維持しながら治療を行っていくことを目指しております。当科では、患者さん、ご家族が少しでも安心して治療を受けられるように、経験豊富な血液診療の専門医の主導のもとで、看護師、薬剤師、移植コーディネーターなど多職種から成るチームで診療を行っています。チーム内で密に連携をとりながら、また、時には地域の診療機関とも連携を取りながら、それぞれの患者さんの病状と生活状況にあわせた最適な診療を心がけています。



心臓血管外科はその名の通り、心臓や血管の外科治療を担当する診療科です。心臓血管に病気をお持ちの場合は、まず多くの方が循環器内科を受診されることと思います。もし、疾患が発見された場合は正確に診断を行い、治療が必要であれば行っていくことになります。まずどんな疾患であっても、簡単に組みめる方法から選択します。つまり、生活習慣の改善や内服薬などで治療ができないかを考えます。しかし、疾患によってはカテーテル治療などの方法が必要なケースもあります。さらにそれらの治療でも改善が難しい場合は、外科的治療の出番になります。

心臓血管外科の対象疾患は多岐に渡ります。大きく分けて、成人心疾患、血管疾患、先天性(小児)心疾患に分けられます。当院の心臓血管外科では、それぞれの分野で専門チームを形成して活動しています。

## 成人心疾患チーム

成人心疾患チームは、急性心筋梗塞や狭心症に対する冠動脈バイパス術や心臓弁膜症（大動脈弁狭窄、僧帽弁閉鎖不全など）に対する弁置換、弁形成手術を行っています。これらの手術は近年様々な進歩を経てきました。弁膜症手術は人工心肺を使用し、心臓を一時的に停止して行う必要がありますが、最近は小さな創部で行う低侵襲手術が可能になってきています。高度な弁疾患には人工弁を使用する弁置換術が必要になってきますが、僧帽弁閉鎖不全にたいしては自分の弁を温存できる、弁形成術が行われています。冠動脈バイパス術は以前は人工心肺を使用することが多かったのですが、現在当院ではほとんどの症例で人工心肺を使用することなく行うことが可能です。より安全に、合併症の少ない手術を行うことが可能になってきています。これらの手術の危険率＝死亡率はどれくらいだと想像されるでしょうか？心臓手術と言えば「命がけであり、神の手を持った外科医が手術をしても助かる事は少ない」と印象を持たれる方もいるのではないのでしょうか。当院では毎年200人近くの方が成人心疾患の手術を受けられますが、死亡率は1%前後になっています。安全に行いうると言う事がお分かりいただけると思います。



毎朝カンファレンスを行い、手術症例につき検討を行います



心臓手術には人工心肺を操作する技師さんの力が不可欠です



成人心臓血管外科の手術です

## 血管疾患チーム

血管疾患チームは大動脈瘤、大動脈解離、閉塞性動脈硬化症などに対する人工血管置換術、ステントグラフト内挿術を行っています。動脈瘤は症状の無いまま進行し、ある日突然破裂を来し、生命の危機をもたらす怖い疾患です。胸部の大動脈瘤は心臓手術同様、人工心肺の使用が必要な場合が多いですが、腹部は使用せずに治療が可能です。従来開胸、開腹による手術が主流でしたが、ステントグラフト内挿術という方法が進歩してきました。これは足の血管から折りたたんだ人工血管を瘤内に入れ、トンネルをつくるという方法で、低侵襲に手術実施が可能です。一旦破裂してしまうと治療が難しくなる動脈瘤ですが、予定手術で行えば安全に行う事ができます。

## 先天性（小児）心疾患チーム

先天性（小児）心疾患チームは生まれながらに心臓に疾患を持った方の手術治療を担当しています。疾患のバリエーションが多岐に渡り、心房中隔欠損症や心室中隔欠損症などの頻度の高い疾患から、左心低形成症候群や大血管転位等の稀な疾患まで広く対応しています。ちいさな赤ちゃんの手術もありますが、先進的で高度な技術を駆使し良好な成績をあげています。

様々な病気に対応している心臓血管外科ですが、先進技術を取り入れ、手術の安全性を高め、体に負担が少なくなるよう、今後さらに精進してまいります。



# TOPICS



## ふるさと納税による御寄附に係る寄附者銘板の設置について

この度、当院1階の正面玄関中央エレベーター横に寄附者銘板を設置しました。2022年度に創立150周年を迎える本学では、更なる教育・研究活動等の充実を図り、創立150周年記念事業を実行していくため、皆様からのふるさと納税による御寄附で構成する京都府公立大学法人未来づくり応援事業基金を設けております。

この間、本基金に多くの方から御寄附を頂戴しており、皆様からの温かい御支援に心からお礼を申し上げますとともに、本基金に多額の御寄附で貢献いただいた方を末永く顕彰するため、本銘板に御芳名を掲示させていただいております。

引き続き広く御寄附を募っておりますので、今後とも格別の御支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 銘板への掲示基準等

- 寄附累計額が100万円以上の個人寄附者の御芳名を寄附累計額に応じた色の銘板に記し、掲示します。なお、公表を希望しない場合は、掲示しないこともできます。

ゴールド : 1,000万円以上

シルバー : 300万円以上

ブロンズ : 100万円以上

- 基本、毎月銘板の掲示を更新していく予定です。

### 銘板写真



設置場所：当院1階正面玄関中央エレベーター横

## 創立150周年記念事業に向けた寄附のお願い

本学は、『世界トップレベルの医学を地域へ』を目指し、京都府のふるさと納税制度を用いた個人寄附金を募集しております。

ふるさと納税及び創立150周年記念事業に関する詳細は下記ホームページを御覧ください。

- ふるさと納税ホームページ(京都府ホームページ)

<https://www.pref.kyoto.jp/fu-daigaku/news/furusato.html>



- 創立150周年記念事業特設サイト(本学ホームページ)

<https://150th.kpu-m.ac.jp/>





## 酒井敏行名誉教授から御寄贈いただいた「Cobas6800」について

2019 年中国から始まった新型コロナウイルス感染症が瞬く間に世界中に拡大し、日本での第 1 号が 2020 年 1 月 16 日に、そして第一波が 3 月末から始まりました。当院での PCR 検査は 3 月初旬から開始しましたが、限られた人数での用手法検査では、1 日の処理検体数を増やすことは難しい状況でした。4 月初旬に突然酒井名誉教授から電話をいただき、「コロナ対策で寄附したいから何か必要なものはないか？」との内容でした。このコロナ禍は数年続くとの予測もあり、PCR 検査の需要は益々増加し、1 日 200 検体以上処理ができ、院内のみならず院外にも対応できるようにしたいと考えておりましたので、将来的な応用も考慮し、Cobas6800 を購入させていただくことにしました。4 月 20 日にメーカーと相談、その時点では本年の 12 月納入となっておりましたが、そこを無理にお願いし、9 月の納入を実現することができました。10 月より稼働したこの機器は、11 月 2 日に院内でのコロナ陽性職員発生時には、接触者健診において本領を発揮し、1 日に約 300 検体を処理することができました。その後新たな陽性者はなく、また患者さんへの感染もなく終息を迎えました。酒井名誉教授の御寄贈により、技師数の少ない検査室でも迅速性と多検体処理を実現することができました。臨床検査部として、これからも新型コロナウイルス診療支援の一翼を担えるよう精進して参りたいと思っております。12 月 8 日には京都府で 60 名を超える新規陽性者が見つかり、いよいよ第三波の襲来です。この機器の出番はまだまだ続きそうです。



①御寄贈いただいた全自動 PCR 検査機器「Cobas6800」  
②酒井名誉教授（左）と夜久病院長

## 外来正面玄関サーモグラフィーの更新について

当院は、府内唯一の第一種感染症指定医療機関として新型コロナウイルス感染症対策に全力を挙げて取り組んでいるところです。

対策の一環として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を未然に防ぎ、安心安全な医療を提供するため、令和 2 年 5 月 11 日より、正面玄関を入ったところで、サーモグラフィーによる体温チェックを行い、発熱患者さんのトリアージを開始したところです。

この間、初診受付時間である午前 11 時までの実施としていたところですが、今般、患者さんを自動で検温し、発熱がある場合は音声でお知らせする最新のサーモグラフィーを導入することができ、令和 2 年 11 月 16 日より正面玄関に設置し、実施時間も午後 5 時までに拡大を行ったところです。

来院される患者さんお一人お一人に発熱チェックのご協力をいただいております、心から感謝を申し上げます。ご不便をおかけしますが、感染拡大を防止するため、引き続き、発熱チェックをはじめ、マスクの着用、手指消毒の徹底など、ご理解、ご協力をお願いいたします。



①正面玄関に設置されたサーモグラフィー。矢印に沿ってとまらずゆっくりお進みください  
②体温が画面上に表示されます

# 健康・予防の豆知識

## 臨床検査の豆知識

臨床検査部 連載企画 第23回

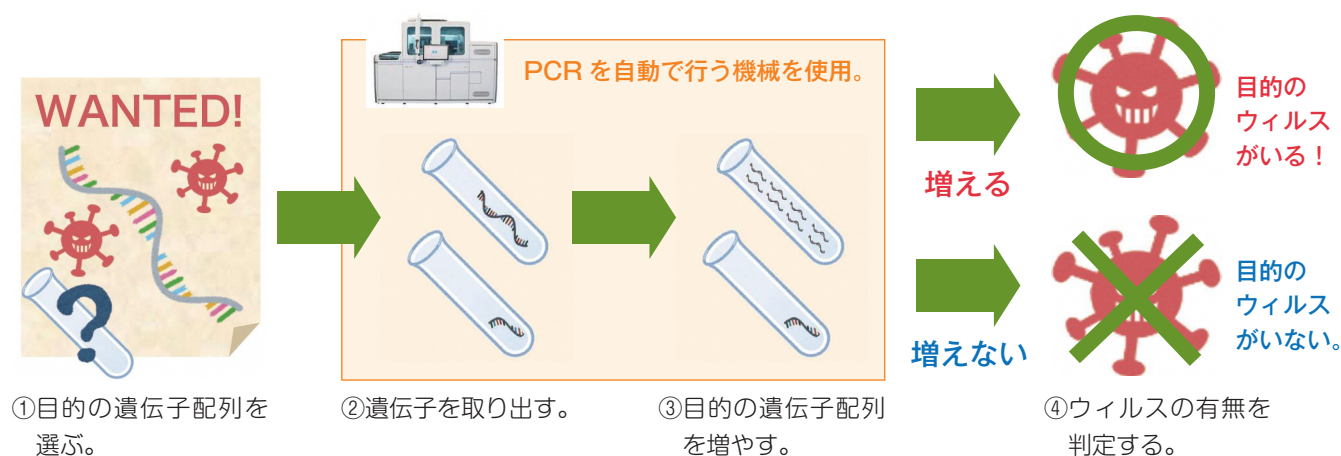
### ウィルスのPCR検査って？



PCR検査とは？

ポリマーゼ連鎖反応（Polymerase Chain Reaction）検査の略で、目的の遺伝子を増やして検出する方法です。

遺伝子の配列はウィルスの種類ごとに異なります。そのウィルスしか持っていない遺伝子配列のみを増やすことで目的のウィルスが存在しているかどうかを確認します。



## くすりの豆知識

薬剤部 連載企画 第28回

### 錠剤の剤形について



錠剤は、成分を圧縮して一定の形に作られたものです。錠剤と言っても、その飲み方や使い方に様々なタイプがあります。指示に従い、正しく服用してください。

| 錠剤の種類           | 特徴                                                              |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------|
| 徐放錠             | 薬がゆっくりと溶けだすことで、効果が長く続くよう工夫された錠剤。服用回数を減らすことができます。                |
| 腸溶錠             | 薬が胃では溶けずに、腸で溶けるよう工夫したもの。薬の成分を胃酸での分解を防いだり、胃を荒らすことを防いだりすることができます。 |
| 糖衣錠やフィルムコーティング錠 | 錠剤の周りをコーティングして苦みなどを抑えたもの。                                       |
| 口腔内崩壊錠（OD錠）     | 口の中ですぐに溶ける錠剤。唾液ですぐに溶けるので水無しで飲むことができます。                          |
| チュアブル錠          | 噛み砕いて飲む錠剤。水無しで飲むことができます。                                        |
| 粒状錠             | 大きな錠剤を小粒化して飲みやすくした錠剤。                                           |
| 舌下錠             | 舌の下に入れて溶かして薬の成分を吸収させる錠剤。舌の下の粘膜から直接吸収されるため速やかに吸収されます。            |
| 付着錠             | 口の中に貼りつける錠剤。口内炎などで持続的に患部に薬が効くように工夫されています。                       |

## 病院からのおすすめレシピ③

### 寒い時期を乗り切る！ビタミンたっぷりメニュー

冬の寒さの中で、人の体は多くのエネルギーを消費します。ビタミンはエネルギー源になる栄養素の代謝に関与するため、寒さが厳しい季節も十分に摂取したい栄養素の一つです。ビタミンにはビタミンB群、Cといった水溶性、ビタミンA、D、E、Kといった脂溶性の2種類があります。ビタミンはそれぞれの特徴に合わせた調理法を用いることで、損失率が変化します。水溶性ビタミンは水に溶けやすい性質のため、スープなどにして煮汁まで一緒に摂取することで効率よく摂取ができます。また脂溶性ビタミンは油に溶けやすい性質のため、油で炒めることでより効果的にビタミン摂取を行うことができます。

今回はかぼちゃやブロッコリーといったビタミンが豊富に含まれた野菜を使った冬にぴったりの温かいメニューを紹介します。

### かぼちゃポタージュ



#### 材 料 (2人分)

|        |        |
|--------|--------|
| かぼちゃ   | 1/4 個  |
| にんじん   | 30g    |
| 玉ねぎ    | 30g    |
| しめじ    | 40g    |
| ブロッコリー | 60g    |
| 水      | 50cc   |
| コンソメ顆粒 | 小さじ1   |
| 塩      | 小さじ1/4 |
| こしょう   | 少々     |
| 牛乳     | 300cc  |

この一品で一日の  
野菜摂取目標量の  
約6割を補うこと  
ができます

★

#### <作り方>

- ① かぼちゃは、種・わた・皮を取り除き、耐熱容器に入れてレンジでつぶせるかたさになるまで加熱し、熱いうちにつぶす。
- ② にんじんはいちょう切りにする。
- ③ 玉ねぎは薄切りにする。
- ④ しめじは石づきをとり、ほぐす。
- ⑤ ブロッコリーは小房にわけておく。
- ⑥ 鍋に②、③を入れて、軽く炒めたあと、①を入れてかぼちゃがなめらかになるように★を少しずつ加える。
- ⑦ ⑥の鍋に④、⑤を入れて煮込む。

#### <栄養価> (1人分)

エネルギー：244kcal、たんぱく質：9.6g、塩分：1.0g、ビタミンA：599μgRAE、ビタミンC：93mg

この一品でビタミンA、Cともに一日に必要な量の7～9割を摂取することができます。



<京都府内にお住まいの方へ> 令和2年11月1日より

新型コロナウイルス感染症の相談・受診・検査体制が**変更**されています

### 発熱症状などのある方はまず身近な医療機関（地域の診療所・病院）にお電話

- ・医療機関が指定した時間に診察し、医師の判断により新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ検査を実施（または、検査のできる医療機関を紹介します）
- ・夜間や医療機関が休みのとき、かかりつけ医のいない方は、下記へ連絡

### 「きょうと新型コロナ医療相談センター」

電話：075-414-5487（365日24時間、京都府・京都市共通）

※詳細は京都府・京都市ホームページをご覧ください。



# 肝疾患相談センター

当院では、肝炎患者さんやそのご家族をはじめ、肝疾患に関する不安や疑問を持つ方からの様々なご相談をお受けする「肝疾患相談センター」を2013年6月に開設しています。



当院は全国に71施設ある肝疾患診療連携拠点病院に選定されており、責任者として京都の地域医療に取り組んでいます。昨今、肝炎・肝がん治療の進歩は目覚ましく、最新の情報、医療を地域の皆様に提供すべく、医療体制を整えております。

伊藤義人 消化器内科学 教授



肝疾患のよろづ相談窓口として、また京都の肝炎医療体制の充実を目指して肝炎医療コーディネーターや若手医師の育成を担当しています。

山口寛二 消化器内科学 学内講師（実務担当）



肝疾患相談センター窓口として、不安を抱えた相談者様に寄り添えるような対応を心がけております。医師や自治体と協働して皆様のサポートをさせていただきます。

太田祐香 肝疾患相談センター相談員

- ・相談は無料です！
- ・お気軽にご相談ください。
- ・本院消化器内科の担当者が対応します。
- ・ご家族もご利用いただけます。



- ◆受付時間 毎週火・木曜日 午前10時～12時、午後1時～4時  
毎週水曜日 午後1時～4時 ※祝日及び年末年始（12月29日～1月3日）を除く
- ◆電話番号 075-251-5171（直通）

## 病院からのお知らせ

### (1) イベント・講座等開催予定

| 事項                                                            | 内容                                                                                                              | 公開講座 QR コード | 問合せ先                                                                                           |
|---------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1<br>【WEB セミナー】<br>京都府立医科大学公開講座<br>「WITH コロナの時代、感染症にどう向き合うか？」 | 新型コロナウイルス感染症について分かってきたこと、一人ひとりが今からできる対策など、本学の各方面の専門家がわかりやすく解説。                                                  |             | 京都府立医科大学 総務課総務担当<br>TEL : 075-251-5210<br>FAX: 075-211-7093<br>メール : learning@koto.kpu-m.ac.jp |
|                                                               | 公開講座 URL                                                                                                        |             | 事前申込<br>不要                                                                                     |
|                                                               | <a href="https://www.kpu-m.ac.jp/doc/about/kokaikoza.html">https://www.kpu-m.ac.jp/doc/about/kokaikoza.html</a> |             | 定員 料金<br>— 無料                                                                                  |

### 当院職員における新型コロナウイルス感染者の発生について

令和2年11月2日に当院看護師1名が、また11月3日に看護師2名が新型コロナウイルスに係るPCR検査陽性であることが判明いたしました。これを踏まえ、令和2年11月2日から11月17日まで当該看護師が勤務していた病棟での新規入院患者の受け入れを停止しておりました。

当該病棟に入退院した患者さん及び出入りした職員へ2回のPCR検査を実施し、陰性が確認できたことから、11月18日より新規入院患者の受け入れを再開いたしました。

引き続き、感染予防策に万全を期しながら、診療を継続して参ります。

**休診日** 土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

**初診受付時間** 午前8時45分から午前11時まで

※再診受付時間は、各診療科にお問い合わせください。

敷地内は全面禁煙としております。ご理解とご協力をお願いします。

次回  
2021年5月  
発行予定



京都府立医科大学附属病院  
University Hospital Kyoto Prefectural University of Medicine

〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路 upper 梶井町 465  
電話：075-251-5111（代表）  
HP：<https://www.h.kpu-m.ac.jp>